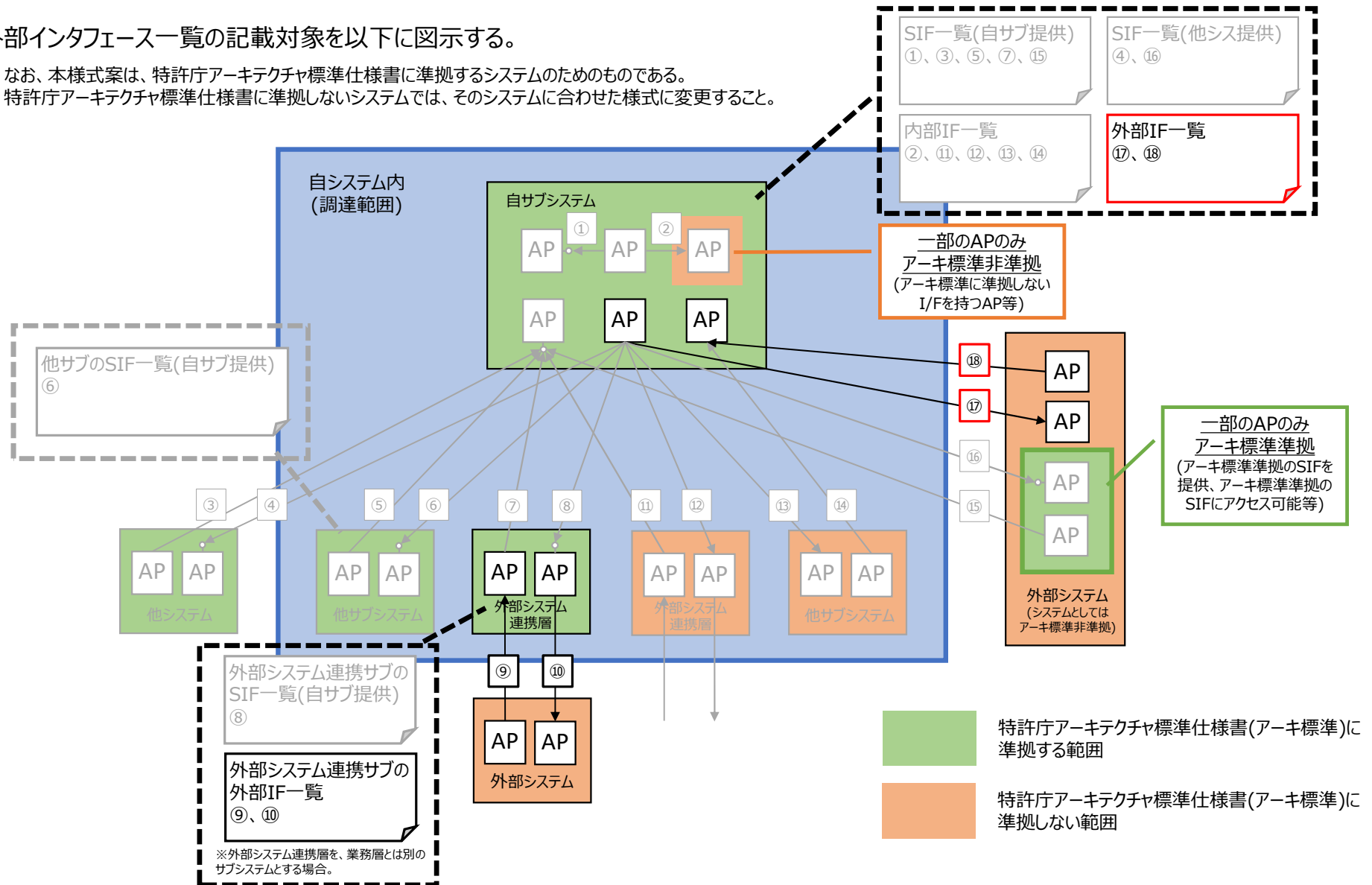


外部インターフェース一覧の記載対象を以下に図示する。

※ なお、本様式案は、特許庁アーキテクチャ標準仕様書に準拠するシステムのためのものである。
特許庁アーキテクチャ標準仕様書に準拠しないシステムでは、そのシステムに合わせた様式に変更すること。



【各設計書の説明】

- ・サービスインターフェース一覧：特許庁アーキテクチャ標準仕様書に準拠するサービスインターフェースの一覧。
- ・サービスインターフェース一覧(自サブ提供)：上記サービスインターフェースのうち、自サブシステムが提供するものの一覧。
- ・サービスインターフェース一覧(自シス提供)：上記サービスインターフェースのうち、他システムが提供し、自サブシステムからのアクセスが存在するものの一覧。
- ・内部インターフェース一覧：自システム内の機能間のインターフェースのうち、特許庁アーキテクチャ標準仕様書に準拠しないものの一覧。
- ・外部インターフェース一覧：他システムとのインターフェースのうち、特許庁アーキテクチャ標準仕様書に準拠しないものの一覧。

外部インタフェース一覧(基本設計工程)

【様式案6】

対象サブシステム：〇〇サブシステム

No.	外部インタフェース		概要	連携方向 (*1)	自サブシステム			外部システム		備考(*5)
	ID	名称			機能ID(*2)	システム構成要素(*3)	類型(*4)	システム名	プロトコル	
1	GIF-11111111	〇〇通知送信	●●システムへ〇〇通知を送信する	①連 → 外	GSR-11111111	外部システム連携	—	●●システム	CORBA	●●システムは令和YY年MM月に刷新予定
2	GIF-22222222	◇◇通知受信	●●システムから◇◇通知を受信する	①連 ← 外	GSR-22222222	外部システム連携	—	●●システム	CORBA	
3	GIF-33333333	□□データ取得	■■システムから□□データを取得する	①連 → 外 ②連 ← 外	GSR-33333333	外部システム連携	—	■■システム	CORBA	■■システムは令和YY年MM月に刷新予定
4	GIF-44444444	△△共通リソースデータ提供	■■システムへ△△共通リソースデータを提供する	①連 ← 外 ②連 → 外	GSR-33333333	外部システム連携	—	■■システム	CORBA	
5	GIF-55555555	□△データ取得	▲▲システムから□△データを取得する	①自 → 外 ②自 ← 外	FNC-11111111	業務アプリケーション(サービス)	1	▲▲システム	HTTP (REST)	▲▲システムは刷新予定なし
6	GIF-66666666	△○データ取得	▲▲システムが△○データを含むファイルを自サブシステムに送信する。業務アプリケーション(バッチ)がこれを取得する	①自 ← 外	FNC-22222222	業務アプリケーション(バッチ)	—	▲▲システム	FTP	
7	GIF-77777777	○△データ提供	業務アプリケーション(バッチ)が○△データを含むファイルを作成し、▲▲システムへ送信する	①自 → 外	FNC-33333333	業務アプリケーション(バッチ)	—	▲▲システム	FTP	
8	GIF-88888888	△○業務処理	■▲システムから△○通知を受信し△○業務処理を実行する	①自 ← 外	FNC-44444444	業務アプリケーション(外受)	—	■▲システム	CORBA	■▲システムは刷新予定なし 1.0版
9										

- *1 自サブシステムと外部システムとの間に外部システム連携を介する場合は、外部システム連携（「連」と記載。）と外部システム（「外」と記載。）の関係を記載し、外部システム連携を介さない場合は、自サブシステム（「自」と記載。）と外部システム（「外」と記載。）の関係を記載する。
- *2 自サブシステムのシステム構成要素の機能IDを記載する。外部システム連携と外部システムとの間のインタフェースの場合は、外部システム連携の機能IDを記載する。
- *3 外部システム連携と外部システムとの間のインタフェースの場合は「外部システム連携」と記載する。
- *4 システム構成要素が業務アプリケーション（サービス）の場合は、類型を記入する。
- *5 システム構成要素が業務アプリケーション（外受）の場合は、版数を記入する。
- ※ 上記様式案に記入している例と、前ページ「補足説明図」で示すインタフェースの対応関係は以下のとおり。

記入例	補足説明図
No.1, No.3	⑩
No.2, No.4	⑨
No.5, No.6	⑰
No.7, No.8	⑱